

# 福岡市保健福祉審議会(平成 23 年度) 議事録

## 1 日 時

平成 24 年 3 月 2 日 (金) 午前 10 時 30 分～午前 11 時 30 分

## 2 場 所

福岡市役所 15 階講堂

## 3 出席者

別紙のとおり

## 4 議 事

- (1) 開会 (渡邊副市長挨拶)
- (2) 委員紹介等
- (3) 議題 (①委員長・副委員長の互選 ②専門分科会委員の指名)
- (4) その他
- (5) 閉会 (井崎保健福祉局長挨拶)

## 5 議事録

事務局：ただいまから福岡市保健福祉審議会総会を開催します。本日は、当審議会委員 33 名中 25 名のご出席で過半数に達し、福岡市保健福祉審議会条例第 6 条第 3 項の規定により会議が成立することをご報告します。

また、福岡市情報公開条例に基づき、本審議会は原則公開で行います。

会議開催にあたり、渡邊副市長より、皆様にご挨拶申し上げます。

副市長：〈開会挨拶〉

事務局：審議会委員任命後初の会議につき、保健福祉審議会の概要について、事務局より説明いたします。

〈福岡市保健福祉審議会条例により、当審議会の設置趣旨、所掌事務、任期、委員の責務等を説明〉

事務局：次に、事務局より委員をご紹介します。〈五十音順に委員をご紹介します〉

各委員：〈ご挨拶〉

事務局：次に、委員長、副委員長の互選についてお諮りします。委員長及び副委員長については、福岡市保健福祉審議会条例第 5 条第 1 項により「委員の互選」とされているので、どなたか、自薦、他薦をお願いします。

委 員：前回も委員長を務められた石田委員、副委員長を務められた岩城委員にお願いしてはいかがでしょうか。

各委員：〈拍手〉

事務局：石田委員，岩城委員におかれては，委員長，副委員長をお引き受けいただけますか。

両委員：〈了承〉

事務局：では，委員長は石田委員，副委員長は岩城委員にお願いいたします。  
委員長，副委員長は，お手数ですが，正面のお席へ移動をお願いします。

〈委員長席・副委員長席にそれぞれ移動〉

事務局：就任にあたり，委員長，副委員長から，ご挨拶をお願いします。

委員長：〈挨拶〉

副委員長：〈挨拶〉

事務局：では，以降の会議進行を委員長にお願いいたします。

委員長：それでは，次の議題の，各専門分科会の委員の指名についてお諮りする。事務局で案をまとめてくれているようなので，このことについて，事務局より資料3について説明されたい。

事務局：〈資料3について説明〉

委員長：資料3により，それぞれの分科会の所属が説明されたが，この指名案について，自分は，特にこの分野でやりたいというご意見はあるか。

各委員：〈意見なし〉

委員長：では資料3のとおり，各委員の専門分科会を決定します。この，各専門分科会の会長，副会長については，いつ互選を行うこととなるのか。

事務局：各分科会の1回目の開催時に，会長，副会長の互選を行っていただく予定です。

委員長：では，本日の議題はこれで終了する。次に，「その他」として，今後の審議予定について，事務局から説明されたい。

事務局：〈資料4により，今後の審議予定を説明〉

委員長：ただいまの件について，なにかご質問はあるか。

委員：民生委員審査について伺いたい。以前委員となっていたことがあるが，民生委員の改選時には膨大な資料があり，チェックが困難であった。また，現在，高齢化の影響で，地域で民生委員のなり手が少なくなっている。このような中，書類だけざっと見て審査を終えてしまっていていいのかと思う。これらの課題に対応し，審査の実効性を持たせるため，委員を増やして区等の一定のエリアごとに審査するなど，実情を把握できるシステムにできないか。

今回はいいが、今後検討いただければと思う。

委員長：民生委員を選任することも、民生委員の業務自体も大変であるとのことで、委員にご意見をいただいた。この件について、事務局から説明された。

事務局：3年に1度の一斉改選の折りには、膨大な書類を審査いただくこととなり、また、それ以外の年度にも2回ほど、民生委員の欠員補充で審査していただいている。

ただ、ただいまのご意見は、民生委員の選任のあり方や、民生委員の活動で困っていることなどまで踏み込んで審議する場が必要との趣旨と思うので、今後検討させていただきたい。

委員長：他に、ご意見、ご質問はあるか。

委員：会議冒頭にご説明いただいた資料1の福岡市保健福祉審議会条例第4条第5項では、「委員はその職務に関して知り得た秘密を漏らしてはならない」とされているが、本会議は原則公開審議されているので、どの部分が秘密にしなければならないかご教示されたい。

事務局：委員のご指摘どおり、本日の会議は公開で審議しており、お配りした会議資料は、傍聴人にも配付され、ホームページにも掲載されるので、一切秘密ではない。一方、例えば障がい者保健福祉専門分科会審査部会における障がい者手帳の認定審査等、個人情報や審議する場合等は守秘義務が生じる。各分科会での会議で、非公開情報を取り扱う場合は、委員の皆様事前に説明して進めていく。

委員長：個人情報の守秘については現在は非常に大切なので、非公開で行う会議の場合は終了後に会議資料を回収するなど、取扱いには事務局で十分ご配慮されたい。

他にご意見、ご質問はないか。

各委員：〈なし〉

委員長：では、質疑を終了し、事務局にお返しします。

事務局：皆様、ご多忙中ご出席いただきありがとうございます。本日、昨年末に策定した福岡市保健福祉総合計画を配付しておりますのでご査収ください。また、現在策定作業中の高齢者保健福祉計画、障がい保健福祉計画についても、完成したら委員にお届けいたします。最後に、保健福祉局長より、一言ご挨拶申し上げます。

事務局（保健福祉局長）：〈挨拶〉

(別紙) 出席者一覧

(1) 福岡市保健福祉審議会委員 (五十音順)

氏名	役職・専門分野等
阿部正剛	福岡市議会第2委員会委員
石田重森	福岡大学名誉学長(保険論, 年金論, 社会保障論)
伊藤豪	福岡大学商学部専任講師(保険論, 社会保障論)
岩城和代	福岡市地域包括支援センター運営協議会会長, 弁護士
浦田裕	西日本新聞社論説委員会委員
江藤仁章	福岡地区中小企業団体連合会 中央会参事・事務局次長
大谷善博	福岡市公民館館長会会長
小川全夫	熊本学園大学教授 (社会老年学, 地域社会計画論)
川口浩	福岡市議会第2委員会委員
鬼崎信好	福岡県立大学人間社会学部理事, 教授 (社会福祉学)
吉良潤一	九州大学大学院医学研究院神経内科教授 (神経内科)
櫻井千恵美	福岡市七区男女共同参画協議会代表
篠原達也	福岡市議会第2委員会委員
手塚裕一	社団法人福岡県高齢者能力活用センター事務局長
中原義隆	社会福祉法人福岡市身体障害者福祉協会会長
納富恵子	福岡教育大学大学院教授 (特別支援教育・医学)
野口幸弘	西南学院大学人間科学部社会福祉学科教授 (特別支援教育等)
長谷川浩二	社団法人福岡県精神科病院協会副会長
鳩野洋子	九州大学大学院医学研究院保健学部門教授 (公衆衛生看護学)
浜崎太郎	福岡市議会第2委員会委員
廣津留瑛子	福岡市介護保険事業者協議会会長
松田潤嗣	社会福祉法人福岡市社会福祉協議会常務理事
宮本政智	福岡市精神保健福祉協議会副会長
向井公太	社会福祉法人福岡市手をつなぐ育成会理事長
山崎安則	筑紫女学園大学人間科学部教授 (障がい者福祉, 地域福祉等)

## (2) 福岡市職員（組織順）

氏 名	役 職 等
渡 邊 正 光	福岡市副市長
井 崎 進	福岡市保健福祉局長
恒 吉 香保子	福岡市保健福祉局理事
峯 田 太 史	福岡市保健福祉局総務部長
藤 川 保 正	福岡市保健福祉局総務部総務課長
福 永 たつ子	福岡市保健福祉局総務部計画課長
下 川 祥 二	福岡市保健福祉局保健医療部長
三 浦 雅 子	福岡市保健福祉局健康福祉のまちづくり部長
高 木 三 郎	福岡市保健福祉局健康福祉のまちづくり部地域福祉課長
佐 藤 文 子	福岡市保健福祉局健康福祉のまちづくり部地域保健課長
辻 野 初 子	福岡市保健福祉局健康福祉のまちづくり部地域保健課課長
榎 本 精 治	福岡市保健福祉局高齢者・障がい者部長
矢 野 俊 治	福岡市保健福祉局高齢者・障がい者部高齢者施策推進課長
和 佐 優	福岡市保健福祉局高齢者・障がい者部障がい者在宅支援課長
倉 谷 裕 司	福岡市保健福祉局生活衛生部長